

## レポート課題をランダムに課す

Vol.2

## 実践の事例

- Web 授業のために筆記試験が行えず、代替としてレポート課題によって成績評価をする場合があります。しかし、課題の内容によっては、学生間で相談してレポート課題に取り組みたくないようにしたいと考える教員は多いでしょう。manaba+R の小テスト機能のドリルは、問題をランダムに出題することができますが、レポートの出題にも応用できます。
- 複数のレポート課題を用意し、「ドリル用問題管理」で、レポート課題数に応じた問題を作成します。その上で「小テスト/ドリル出題」からドリルを選び、作成したレポート課題を「問題一覧」に追加し、「出題数設定」で「このうち 1 個をランダムに出題する」と設定します。
- 実際のレポートの提出は、manaba+R の「レポート」機能を使用します。
- 仲の良い学生同士が同じ問題を引くこともあり、完全に学生間の相談を防ぐものではありません。問題数を増やすほど防げますが、難易度が同等で、評価したい能力が同一の課題を用意する負担も増えます。

※選択肢の順番をシャッフルした状態で表示しています。学生の回答画面でも同様にシャッフルされます。

(2) 必須レポート課題くじ引き	
課題に関する説明	ここから必須レポート課題を入手することができます（入手は一度だけです）。各課題につき A4, 1 枚以内で記載し、manaba+R の「レポート」から両方提出してください。課題内容は全員同じではなく、いくつかの課題の中からランダムで出題されます。レポート課題を入手・ダウンロードしたら、提出ボタン（何の課題が当てられたか記録を残すためです）を押してください。もしトラブルがあった場合は himamura@frc.ritsumei.ac.jp に連絡をしてください。
制限時間	90 分間 制限時間を超過して回答可
受付期間	2021-07-14 13:00~2021-07-29 00:00
提出上限	1 回まで
選択肢のシャッフル	シャッフルする
ポートフォリオでの扱い	回答を学生のポートフォリオに追加
正解の公開	公開しない

#48  
あなたの必須レポート課題はこちらです。

前半必須レポート  
ワードファイル版：  
生体分子機能・構造化学2021\_前半必須レポートB.docx  
PDF版：  
生体分子機能・構造化学2021\_前半必須レポートB.pdf

後半必須レポート  
ワードファイル版：  
生体分子機能・構造化学2021\_後半必須レポートB.docx  
PDF版：  
生体分子機能・構造化学2021\_後半必須レポートB.pdf

レポート課題のファイルをダウンロード後、必ず下の提出ボタンを押してください（何のレポート課題が当てられたか記録を残すためです）。

## 活用のヒント

- レポートの問題間で難易度に差が出ないように、論題を設定しましょう。
- どの学生が、どのレポート課題を引いたかは、当該小テストの「提出状況」確認画面から、各学生の「採点結果の確認」を個別に開くことで確認できます。
- 小テスト論題を確認したら、必ず「提出」するよう学生に周知してください。学生が小テストを「提出」しないと、教員は当該学生に割り当てられた論題を確認することができません。
- 学生同士の相談を防ぐレポート課題も重要ですが、学生間で相談することを奨励する論題や、相談することで質が高まる論題を開発することも重要です。

## 背後の原理

- レポート論題には、(1) 要約型（学習した内容を整理する・説明する）、(2) 論述型（特定の問いやテーマについて学生自身の意見を論証させる）、(3) 演習問題型（与えられた問題を解き、その回答過程と結果を説明・証明する）、(4) 実験型（実験の過程と結果を記述し、明らかになったことと考察を示す）があると言われます（成瀬 2014）\*。この方法は、要約型（エンジンの動作原理を、図を用いてまとめなさい）や演習問題型（ $\sqrt{2}$  が無理数であることを証明しなさい）に向けた方法です。

\* 成瀬尚志（2014）『学生を思考にいざなうレポート課題』ひつじ書房

- 本事例は、今村比呂志先生（生命科学部）から提供いただいたものです。
- 過去の「1 分間 FD」の記事は、教育開発推進機構 HP> FD> 3、学内 FD・説明会アーカイブ> 実践事例アーカイブに掲載しています。
- 「1 分間 FD」への事例を募集しております。自薦・他薦を問いません。

# Assign report assignments randomly

Vol.2

Example Practice

of

- In some cases, written exams are not available for web-based classes, and as an alternative, report assignments are used for grading. However, depending on the content of the assignment, many instructors may want to prevent their students from working on the report assignment while consulting to each other. Exercise function in manaba+R's Test can also be used in order to randomize report assignment.
- Prepare multiple report tasks, and create questions according to the number of report tasks in "Questions Administration". Then, add the created report tasks from "Add Question" to the "Questions", and set "1 questions will be randomly chosen from the list" in "The number of questions students will answer".
- For actual submission of the report, use the "Report" function in manaba+R.
- It does not completely prevent students from consulting each other, as students who are close to each other may draw the same report tasks. The more tasks you have, the more you can prevent it, but it also increases the burden of preparing problems of equal difficulty and with the same abilities you want to assess.

※選択肢の順番をシャッフルした状態で表示しています。学生の回答画面でも同様にシャッフルされます。

課題に関する説明	ここから必須レポート課題を入手することができます(入手は一度だけです)。各課題につきA4,1枚以内で記載し、manaba+Rの「レポート」から両方提出してください。課題内容は全員同じではなく、いくつかの課題の中からランダムで出題されます。レポート課題を入手・ダウンロードしたら、提出ボタン(何の課題が当てられたか記録を残すためです)を押してください。もしトラブルがあった場合はhimamura@fc.ritsumei.ac.jpに連絡をしてください。
制限時間	90分間 制限時間を超過して回答可
受付期間	2021-07-14 13:00~2021-07-29 00:00
提出上限	1回まで
選択肢のシャッフル	シャッフルする
ポートフォリオでの扱い	回答を学生のポートフォリオに追加
正解の公開	公開しない

Maximum times to submit answers: 1 times

Shuffle Choices: Shuffle

Portfolio: Add to student's portfolio

#48  
あなたの必須レポート課題はこちらです。

前半必須レポート  
ワードファイル版:  
生体分子機能・構造化学2021\_前半必須レポートB.docx  
PDF版:  
生体分子機能・構造化学2021\_前半必須レポートB.pdf

後半必須レポート  
ワードファイル版:  
生体分子機能・構造化学2021\_後半必須レポートB.docx  
PDF版:  
生体分子機能・構造化学2021\_後半必須レポートB.pdf

レポート課題のファイルをダウンロード後、必ず下の提出ボタンを押してください(何のレポート課題が当てられたか記録を残すためです)。

Tips for Use

- Set up the report tasks so that there is no difference in difficulty between them.
- You can check which student pulled which report tasks by going to the "Submission Status" screen of the Test in question and opening the "Results" by clicking on each student's names individually.
- Please remind students that they must "Submit" the Test after reviewing their report tasks. If a student does not "Submit" the Test, the instructor will not be able to check the report task assigned to that student.
- Report assignments that prevent students from consulting with each other are important, but it is also important to develop essays that encourage students to consult with each other and essays whose quality is enhanced by consultation.

Theoretical Background

- It is said that there are four types of report topics: (1) summary type (organizing and explaining what has been learned), (2) argumentative type (asking students to argue their own opinions on a specific question or topic), (3) exercise type (solving a given problem, explaining and proving the process and results of answering the question), and (4) experimental type (describing the process and results of an experiment, and showing the findings and discussion). (Naruse 2014)\*. This method is suitable for the summary type (summarize the principle of operation of an engine using a diagram) and the exercise type (prove that  $\sqrt{2}$  is an impossible number).

\* Takashi Naruse (2014) "Gakusei wo Shikou ni Izanau Repoto Kadai", Hituzi Shobo.

This case study was provided by Hiroshi Imamura (College of Life Sciences). Past articles of "1 Minute FD" can be found on the Institute for Teaching and Learning HP>FD>3. Archive of internal FD and briefing sessions. We are looking for case studies for "1 Minute FD". Self-recommendations and other recommendations are welcome.

